

神照地区地域福祉活動計画について

神照地区地域福祉活動計画は、福祉（暮らし）について住民みんなで考え、行動するための指針であり、「住民参加」による活動と関係機関との「協働」を図りながら、福祉課題の解決を目指し、「住民主体による福祉のまちづくり」を進める計画です。

《1. 住民参加》

誰もがその地域で自立した生活が送れることを目標に、住民が参加することによって、共に支え合い、助け合う地域づくりを目指します。

《2. 住民主体》

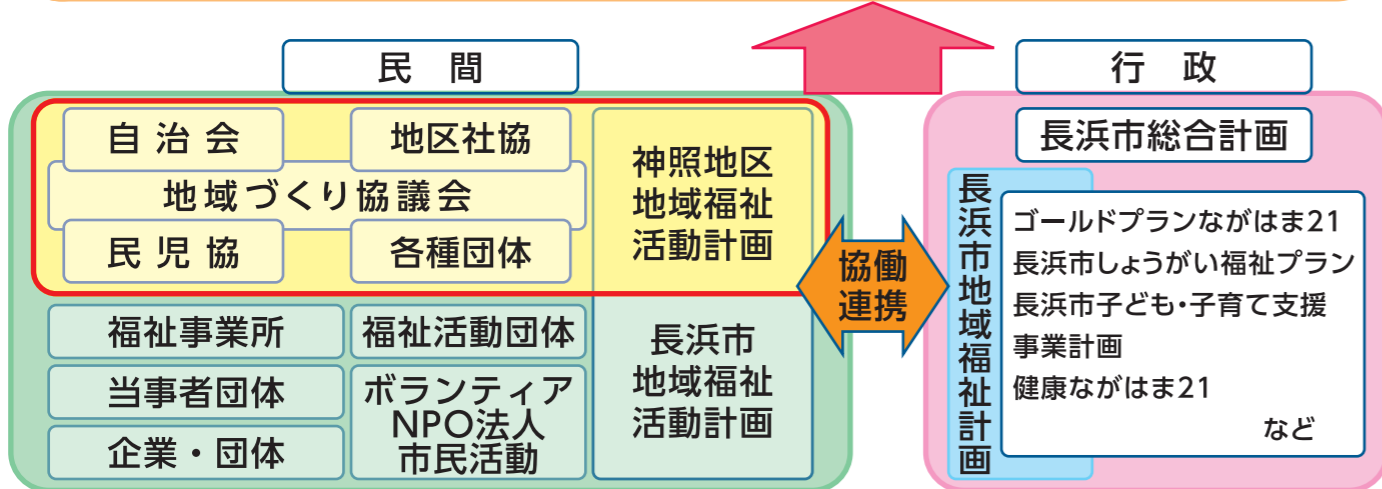
地域のさまざまな福祉課題に地域で暮らす「住民が主体的」に関わることを目指します。

《3. 地域連携》

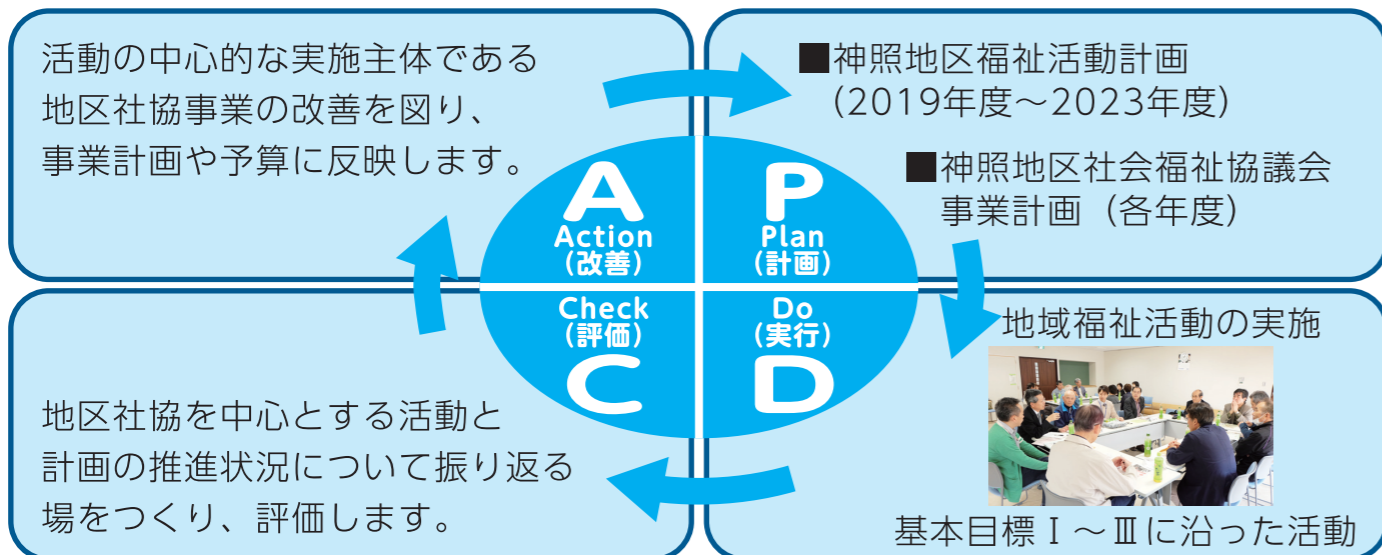
神照地区のさまざまな団体との連携をはじめ、行政や市社協、地域包括センター等との協働により地域福祉活動を推進します。

計画の位置づけ

基本理念 「地域の絆で ともに育み支えあい 安心して暮らせるまち 長浜」



住民のみなさん一人一人が互いに協力しながら、子どもから高齢者まで「この地区に住んでいて良かった」と誰もが言える地域を目指して、神照地区社会福祉協議会を中心に計画の推進状況や福祉活動を振り返る場をつくりまします。



第2期

神照地区地域福祉活動計画

あたたかな つながりが
 生きるまち 神照

2019～2023年度

神照地区社会福祉協議会

あたたかな つながりが 活きるまち 神照

神照地区の歩みとこれから

神照地区は、市内で人口が最も多い地区です。急速に高齢化が進んでいる自治会がある一方、子育て世代が多いところもあり、今後はそれぞれのニーズに応える福祉活動の展開が望めます。

また昨今、自治会を単位としたサロン活動をはじめ、命のバトン等による「見守り活動」の輪が少しずつ広がりはじめています。

住民のアンケート結果からも自治会を中心とした圏域においてのつながりがより一層大切であるとの声が多くありました。継続した福祉活動を推進するため、2019年度から5年間の第2期計画は、様々な諸課題にも柔軟に対処できる未来指向の地域福祉活動計画を策定しました。

今後も「あたたかな つながりが 活きるまち 神照」を目指し、みんなで力を合わせ、地域福祉活動に取り組んでいきましょう。



基本目標Ⅰ 人と人とのつながりを広める 交流と関係づくり

- ・健やかな成長と生活を応援します。
(子育て支援事業・歳末友愛訪問・特別支援学級友愛訪問等)
- ・いつまでも安心して暮らせる地域社会を目指します。
(ひとり暮らし高齢者お楽しみ会・園児とのふれあい交流会・人権と福祉のつどい等)



基本目標Ⅱ つながりを深め、自分の気持ちが出せる居場所づくり

- ・「あの人に会える」ホッとする居場所をつくります。
(サロン活動の推進・ほっぺの広場・まゆの広場・かみてるこども広場・認知症カフェ等)
- ・やりがいをもって活動できる仲間づくりを応援します。
(サロン交流会・神ゆうくらぶ等)



▲居場所づくり

基本目標Ⅲ 互いのつながりで支える見守り活動

- ・隣近所のつながりで気になる人を見守ります。
(隣近所のちょっと見守り・気軽な声かけ・命のバトンの推進等)
- ・地域で見守り支えあうしくみを推進します。
(自治会長、民児協、福祉委員による意見交換会・福祉委員研修会・見守りネットワークの推進等)



▼見守り活動



▼交流と関係づくり

活動を支えるための3つの基盤

1. 健やかな成長と生活を支援し、安心・安全な地域づくりを目指します。
2. 地域の情報を共有し、互いの活動がつながり支え合う人づくりを目指します。
3. 地域づくり協議会、自治会、地区社協、民児協、福祉委員、各種団体が連携、協力できるしくみづくりを目指します。



神照地区の福祉構想

